

顧客の収益最大化を実現する営業ソリューションプロバイダー

株式会社ダイレクトマーケティングミックス

2024年12月期 第1四半期決算説明資料

2024年5月15日

DmMiX
(7354)

2024年12月期 第1四半期決算ハイライト

- 売上収益：インバウンド業務の縮小を要因として前年同期比約27億円の減収となるも、通期予想に対しては計画通り進捗
- 営業利益：売上収益の減少を背景として前年同期比では約8億円の減益となるも、高収益なスポット業務の受注もあり、通期予想に対しては高い進捗率で推移

(百万円)	2023/12	2024/12			
	1Q	1Q			
	実績	実績	前年同期比 (増減率)	通期業績予想	進捗率 ^{*2}
売上収益	8,686	5,945	△2,741 (△31.6%)	21,000	28.3%
営業利益	1,633	784	△849 (△52.0%)	1,000	78.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,075	455	△619 (△57.6%)	655	69.6%
EBITDA ^{*1}	2,017	1,150	△866 (△43.0%)	2,451	46.9%

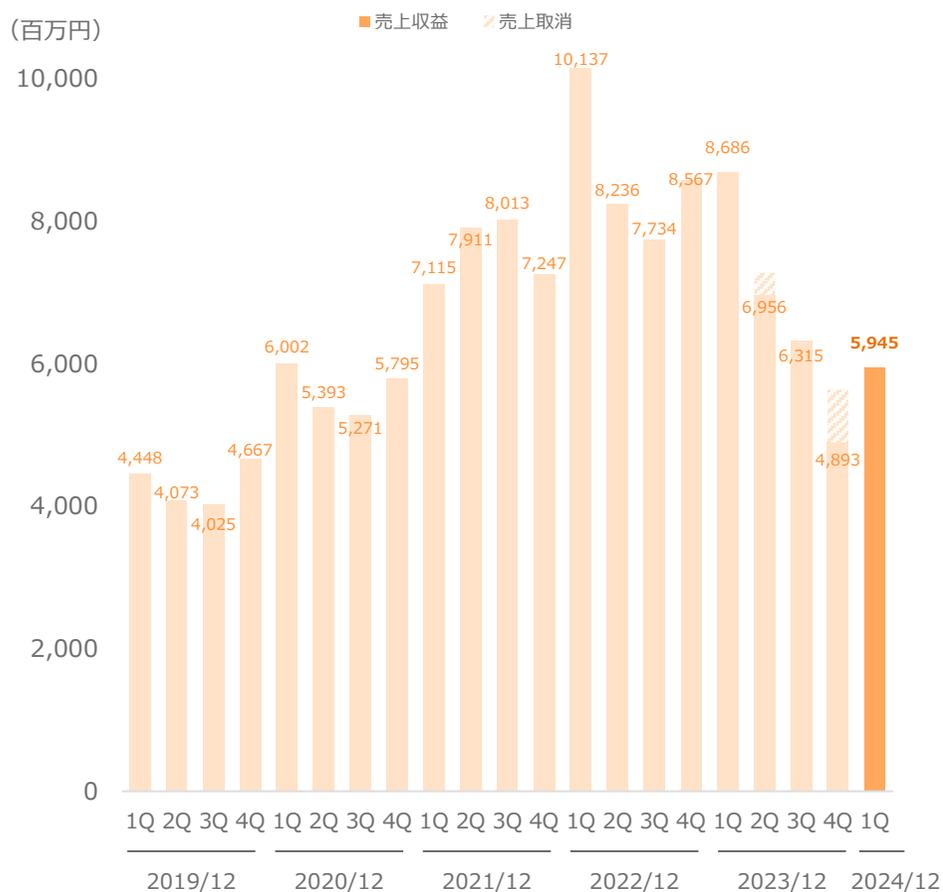
*1 EBITDA=営業利益+減価償却費+償却費

*2 2024/12通期業績予想に対する進捗率

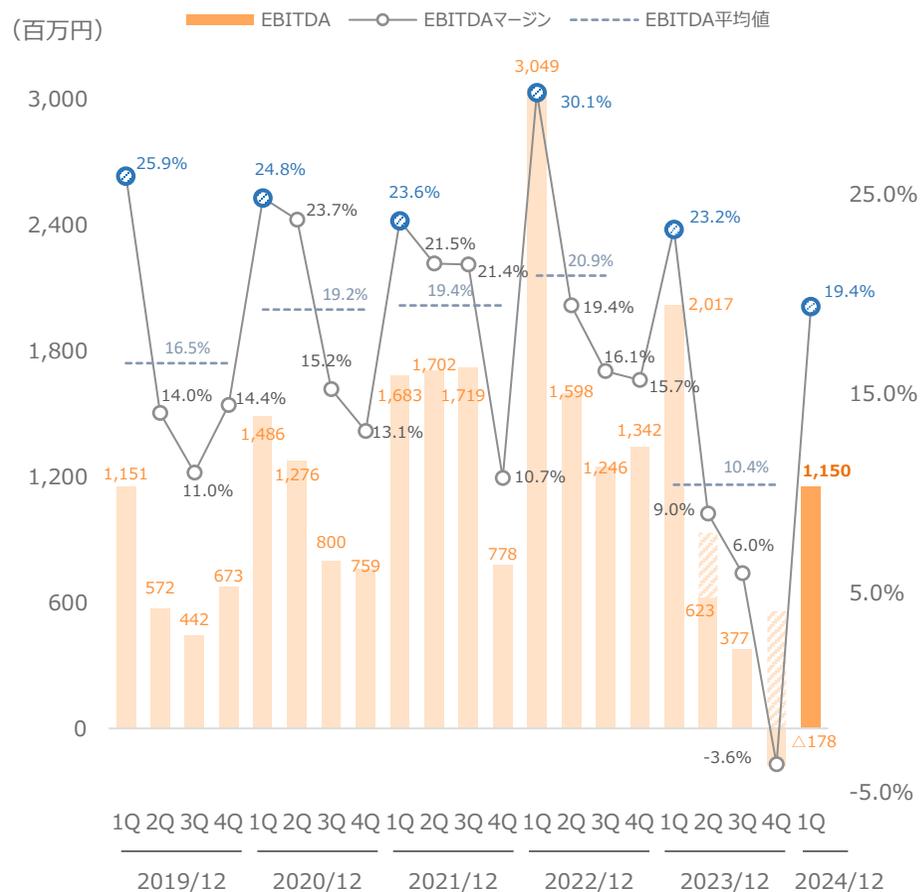
四半期業績

- 売上収益：インバウンド業務の縮小によりYoYでは減収となるも、QoQでは着実に伸長
- EBITDA：季節性要因もありQoQでは着実に伸長。マージンについては、今期は中長期的な成長を見据えた余剰キャパシティを保有しているため、例年の水準をやや下回るものの、着実に改善

連結売上収益の四半期推移



EBITDA・EBITDAマージンの四半期推移



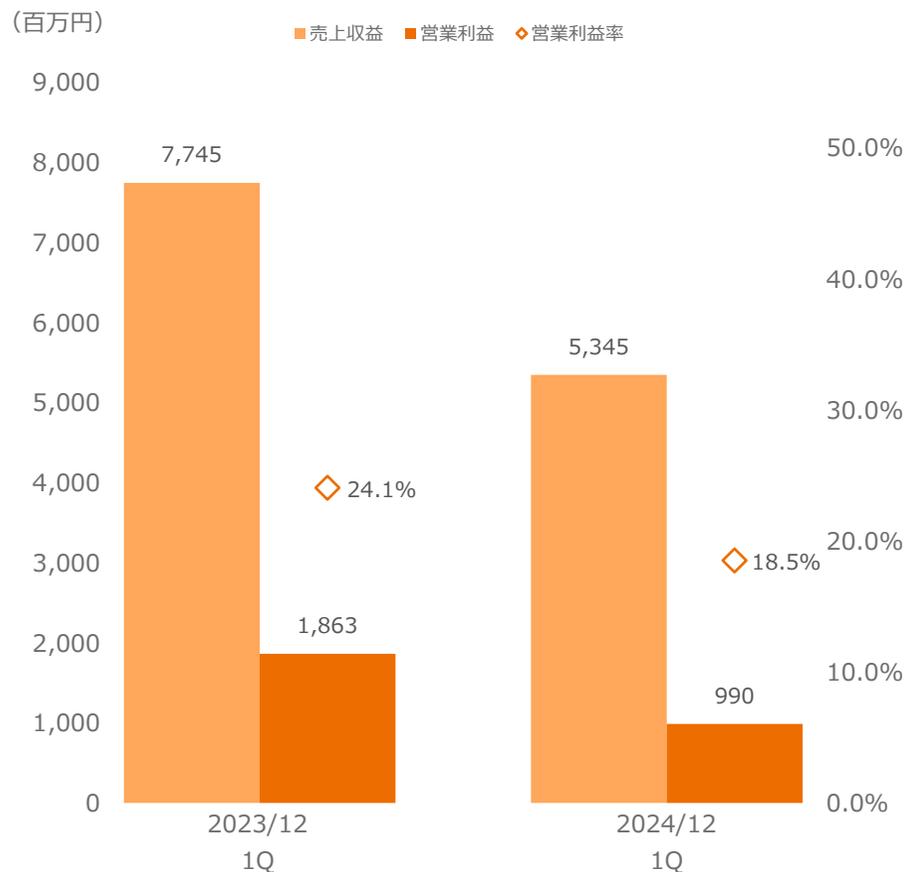
* EBITDA=営業利益+減価償却費+償却費
* 斜線部分は売上取消分

セグメント別業績

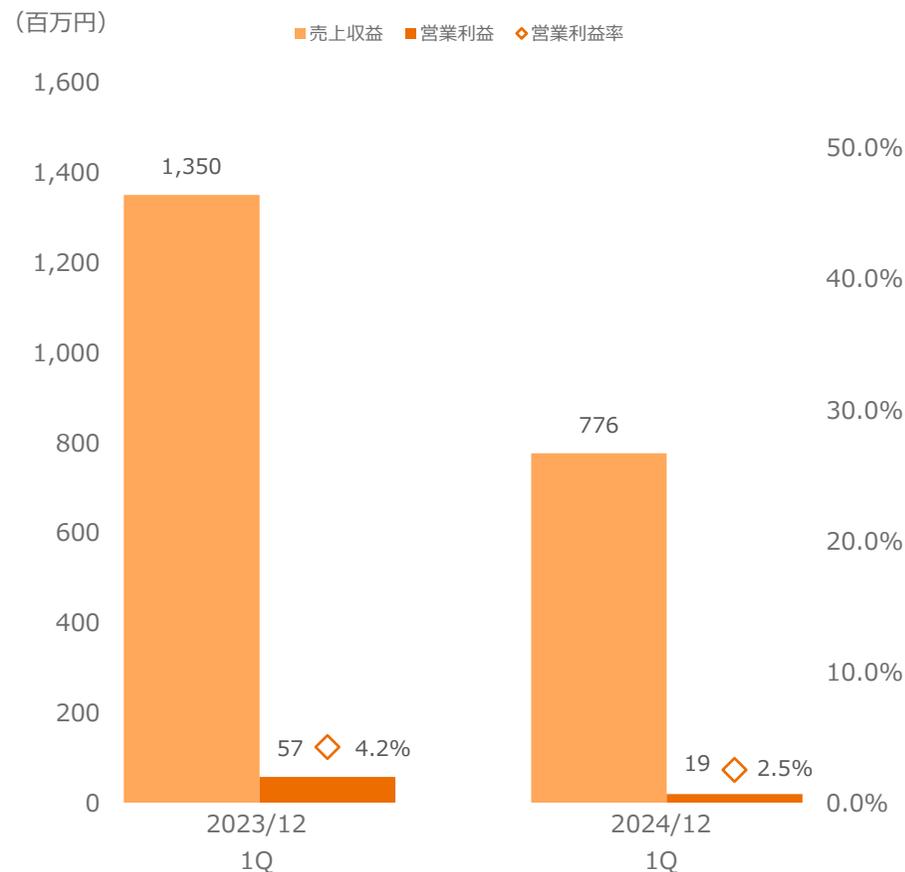
■ マーケティング事業：売上収益は前年同期比△2,399百万円（△31.0%）、営業利益は前年同期比△873百万円（△46.9%）

■ オンサイト事業：売上収益は前年同期比△574百万円（△42.5%）、営業利益は前年同期比△38百万円（△66.1%）

マーケティング事業

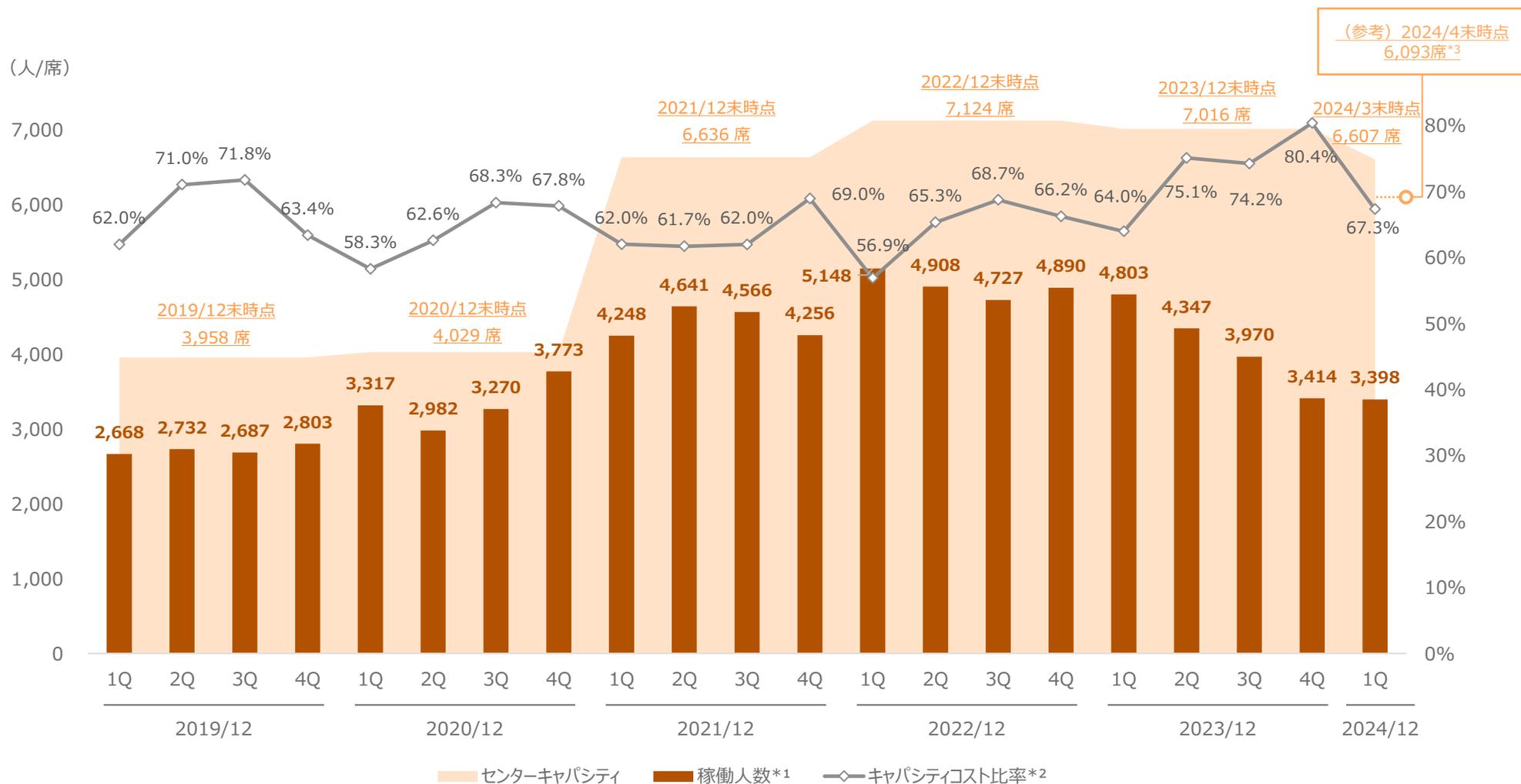


オンサイト事業



キャパシティコスト比率の推移

■ 一部拠点の整理を行ったことも影響し、キャパシティコスト比率はQoQで改善。今後も、中長期的な事業拡大を見据え、一定程度の余剰キャパシティを確保する方針としつつも、事業環境に応じた適切なコントロールを行い、収益性の改善を目指す



(参考) 2024/4末時点
6,093席*3

*1 マーケティング事業の稼働人数（フィールドセールス等の外部稼働人員を含む）

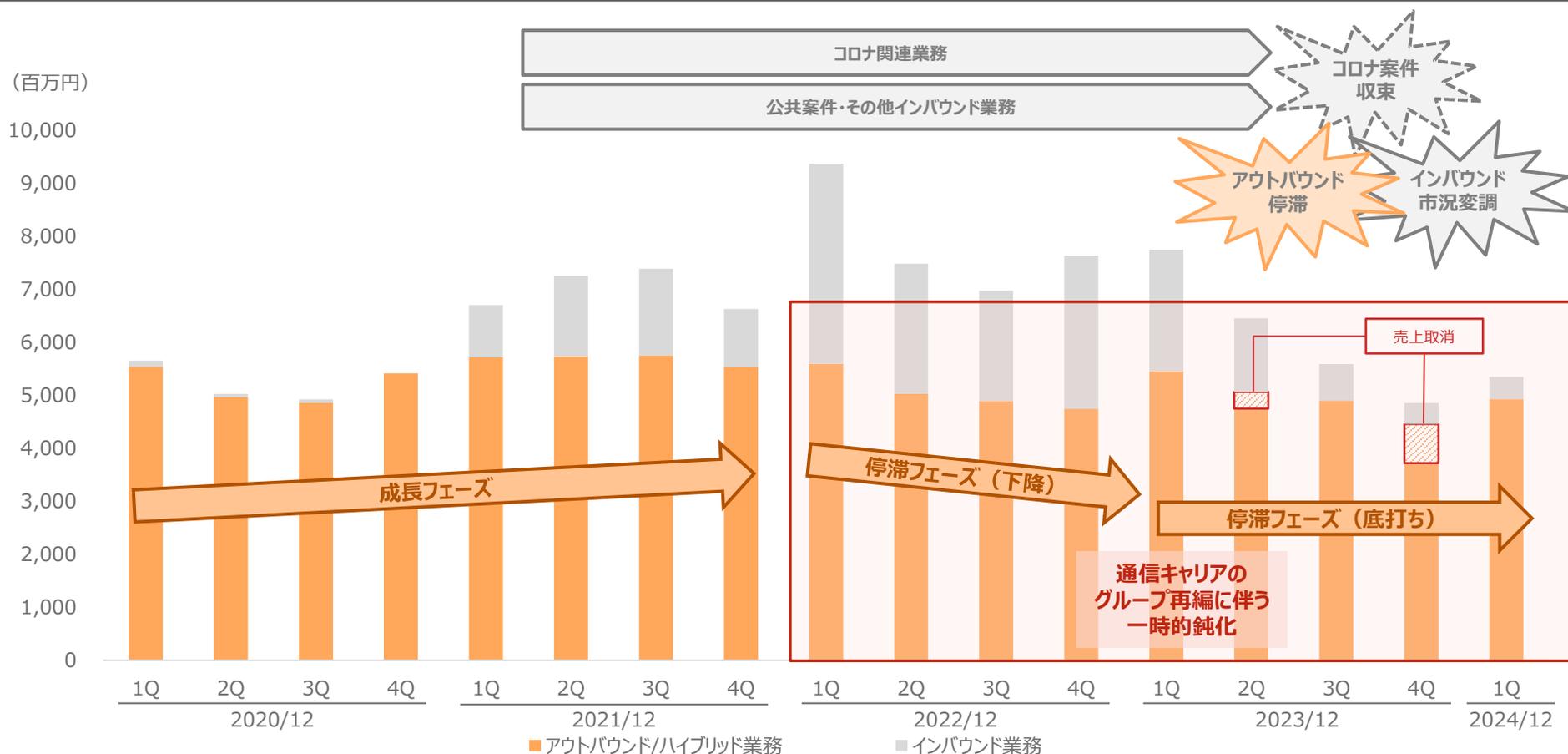
*2 キャパシティコスト比率 = (人件費 + 人材派遣料 + 地代家賃 + 賃借料 + 減価償却費及び償却費) ÷ 売上収益。なお、各数値はマーケティング事業（セグメント間取引を含む）のものを使用

*3 2024年4月末時点における席数から、同時点において整理が決定している拠点の席数を除いた数値

マーケティング事業における受注トレンド

- アウトバウンド/ハイブリッド業務は、通信キャリアのグループ再編等を背景とした一時的な停滞フェーズが続いているものの、需要は底堅い
- インバウンド業務は、事業選別を行い、採算性の高い業務に注力する方針

アウトバウンド/ハイブリッド業務、インバウンド業務の売上推移



2024年12月期 第1四半期 B/S及びC/F

- 営業キャッシュフローは、季節性要因もあり前年度同様にマイナスで着地
- 投資キャッシュフローは新規の設備投資が限定的であることに加え、拠点整理に伴う敷金の返金も影響し、プラスで着地

連結B/S

(百万円)	2023/12月末	2024/3月末	増減
資産合計	26,175	25,483	△692
流動資産	8,381	7,939	△442
非流動資産	17,794	17,544	△250
のれん	11,391	11,391	+0
負債合計	13,090	12,053	△1,037
流動負債	7,436	6,674	△762
非流動負債	5,654	5,379	△274
資本合計	13,085	13,430	+345
親会社の所有者に 帰属する持分合計	13,085	13,430	+345
負債及び資本合計	26,175	25,483	△692

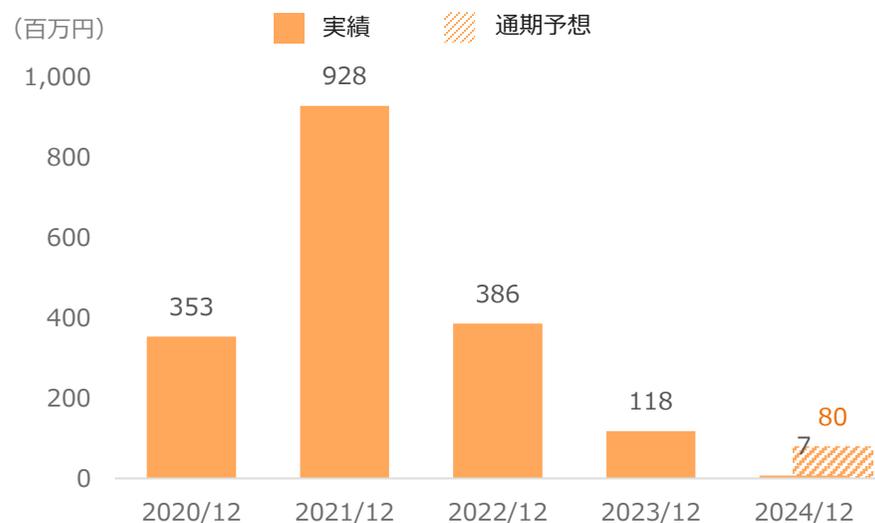
連結C/F

(百万円)	2023/12 1Q	2024/12 1Q	増減	2023/12 通期 (参考)
営業キャッシュフロー	△379	△126	+253	1,612
投資キャッシュフロー	△311	79	+390	△1,234
財務キャッシュフロー	△3,282	△651	+2,632	△3,527
フリーキャッシュフロー	△691	△48	+643	378

投資計画及び進捗

設備投資

- 突発的な工事費用の発生により、建物附属設備費用が計画をやや上振れたものの、全体としては当初計画通りの進捗

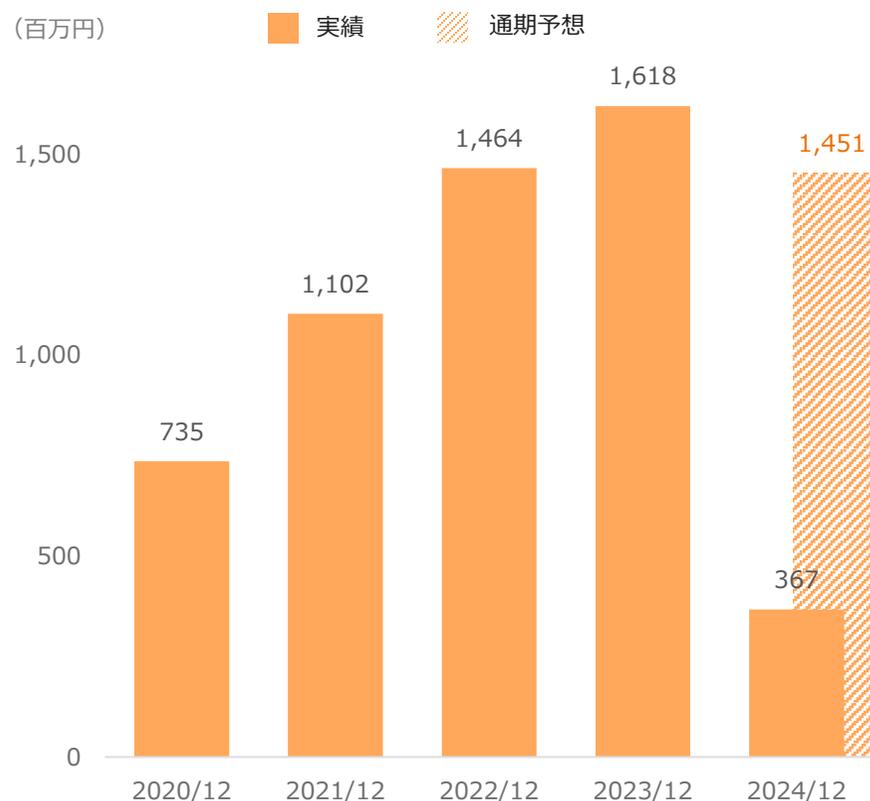


主な設備投資内訳

(百万円)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
	実績	実績	実績	実績	1Q実績	通期予想
建物附属設備	177	492	165	60	6	4
工具器具備品等	165	405	213	57	1	75
ソフトウェア	11	31	8	1	0	0

減価償却費及び償却費

- 2024/12期は2021/12期の大規模設備投資の償却が一巡するため、微減の予定





【ディスクレーマー】

本資料は、現在当社の経営陣が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提（仮定）に基づいて作成しており、当社は本資料の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

また、予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明が含まれていますが、実際の業績は様々なリスクや外部環境の変化、不確定要素に左右され、将来に関する記述・言明に明示または黙示された予想とは大きく異なる結果となりうるため、これら将来に関する記述・言明に全面的に依拠することのないようご注意ください。

なお、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来に関する記述・言明を見直して改訂するとは限らず、当社はそのような義務を負いません。